

③個人追究:計算方法を線分図，タイル図を用いて説明する。

②学習課題:割られる数の2を，0.1のいくつ分と考えて，2÷4＝0.5となることを説明しよう。

②見通し:2÷4は割れない。どのように計算すればよいか。

→割られる数を0.1を基準とした数に置き換えればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・被除数が除数より小さい場合でも，1人分の長さはわり算で求められることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・0.1を単位とすると，0.6÷3は6÷3に帰着できることを理解している。0.6÷3＝0.1×（6÷3）

教材研究ノート№4-A-12

≪学習問題≫

2ｍのリボンを同じ長さに切って4人で分けます。

1人分の長さは，何ｍになりますか。

④共同追究後半（思考を深める）

「2ｍ÷4＝200cm÷4＝50cmは，1cmを単位にしているから，0.01を基準にしているのではないのか？」

→「50cmは10cmの5個分と考えればよいので，0.1の5個分で，0.1を基準にしている。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・割られる数が割る数より小さい計算も，0.1を基準にすると,今までの整数のわり算と同じように考えることができる。

・割られる数が割る数より小さいと，答えは1より小さくなる。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの方法にも共通していることは何だろう？」

→「どれも，わられる数を0.1のいくつ分と考え，20÷4を利用して計算している。」

⑥定着･活用問題

ひろし君は，3÷5の計算を次のように

考えました。

3÷5＝30÷5÷10

ひろし君の計算の方法を説明しましょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・単位を小さくして数を大きくする（ｍ→㎝）方法と，数自身を細かく分ける（2→20×0.1）方法という2つの解決方法が考えられるので，個人追究における子どもの思考を，この視点からとらえたい。

・共同追究では，計算の意味を，この2つの解決方法の双方から説明させたい。